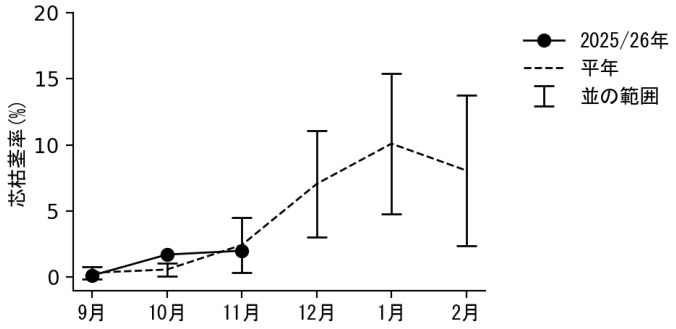
令和　7 年度　　12 月予報

作物	さとうきび		地域	八重山群島
病害虫名	① メイチュウ類（カンシャシンクイハマキ・イネヨトウ）			
調査結果	11 月の発生量（平年比）	並		
予　報	11 月からの増減傾向	↗		
	12 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

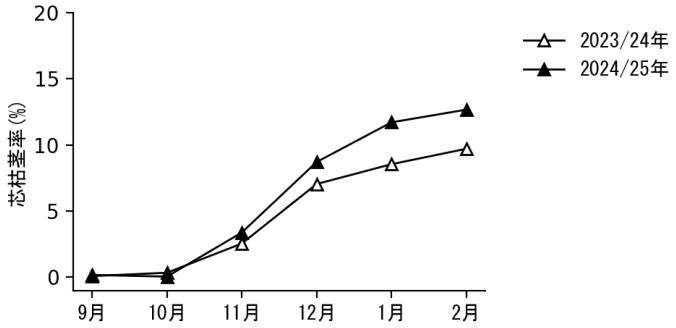
調査結果

芯枯茎率の推移(夏植え)

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生種：カンシャシンクイハマキ（50%）、イネヨトウ（50%）

・発生ほ場率75.0%（平年：69.6%）

防除のポイント

・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。

・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。

・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。

・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

・茎葉への乳剤等の散布は、葉鞘と茎のすき間に十分な薬液が入るように丁寧に行う。